

備えて安心、防災資機材

今年度、東通村では、防災資機材を新たに整備し、令和8年度東通村防災訓練で、資機材を紹介しました。

国の補助金「地域未来交付金」を活用し、災害時の救援物資の運搬や、近年の猛暑に対応した避難所運営等に活用するため、中型トラックや気化熱冷風機等を整備しました。

また、6月30日に、株式会社しむら様(川崎 雅代 代表取締役社長)から、圧縮衣類やネックウォーマー等の防災資機材、計800セットを寄贈いただきました。

寄贈に感謝するとともに、これらの資機材を活用し、引き続き防災・減災対策に取り組んでまいります。



整備した気化熱冷風機



寄贈された防災資機材

🔥 炊飯器が使えないときのごはんの炊き方

防災訓練では、停電時を想定した炊き出し訓練を行い、災害救助用包装食(米炊き袋)を用いた“ごはんの炊き方”について学びました。

また、当日の炊き出し訓練では、入口老友会の皆さんが、カレーを用意してくださいました。



【用意するもの】

- ・無洗米
- ・飲料水
- ・米炊き袋(なければ耐熱用ポリ袋)
- ・鍋(煮炊き用)



【工程】

- ①米炊き袋に、無洗米1合に対し、飲料水200mlを入れる。
 - ②空気を抜き、水が入らないように密閉する。輪ゴムで縛るのも良いです◎
 - ③沸騰した鍋に、米炊き袋を入れ強火で30分煮る。
- ☆ごはんが炊けたら、鍋から米炊き袋を取り出して、できあがり！



災害への備えとして、飲料水や食品を備蓄しておくことが重要です。
火が使えない場合等に備え、カンタンに食べられる非常食を、各家庭で準備しておきましょう。
防災資機材は、ホームセンター等で購入できます。



訓練を終えて



入口・稲崎・東栄地区自主防災組織
会長・畑中 由彦 さん(入口)

避難所運営には、住民の皆さんの協力が大事です。災害がなければいいのですが、日本の各地で、地震や集中豪雨による河川の氾濫等が起こっています。

自分の身は自分で守ること「自助」を大事に、地区の皆さんには、日頃から備えてほしいです。

いつ起こるか分からないのが災害です。

今日、起きるかもしれません。日頃の備えを皆さん、見直してみましょう。